日伯新聞
伯國聖市マエストロ・カルゼン街二六九（ヴエルゲイロ街二五八）
發行所日伯新聞社
本紙定價年卅ミル
外國郵稅共百ミル

敵機・臺灣を空襲

臺北飛行場を狙つて 附近畠地に爆彈投下 婦女子數名殺傷、外損害なし

（臺北廿三日同盟）廿三日午前十一時五分支那機數機臺北市街北方飛行場上空に現れ爆彈十個を投下せるも、何れも同飛行場より六、七町離れた畠地内に落下し被害なし

（臺北廿三日同盟）廿三日臺灣軍司令部發表

今朝十一時五分頃臺北飛行場上空に突如敵飛行機一、二機現れ爆彈約十個を投下せしも高度より投下したゝめ爆彈は飛行場を去る遠き地區に落下し、内數個は臺北郊外の民家に命中、附近にあつた婦女子數名を殺傷した外大なる損害なし、又午後一時過ぎ新竹東方竹東上空に機數不明の敵機現れ爆彈約十個を投下數名を殺傷したるのみで我飛行機の爲撃退せられたり

皇軍至妙の戰術に 山西の敵軍、總崩れ 山又山、谷又谷を猛追撃

【北京二十二日同盟】山西中原に於ける彼我の戰線は逐次接近し、同浦線蠡石附近の戰機は漸く熟しつゝある、既に孝義西方に展開し、大麥郊鎮の敵三千を殲滅した我が鯉登の敵三千を殲滅した我が鯉登岸間の各部隊は蠡石西北方辛庄鎮に蟠居する敵の前衛部隊約三千を殲滅すべく、二隊に分れ進撃を開始し、二十一日鯉登部隊は黄廟鎮を、佐々木岸間兩部隊は旋口鎮の要害を攻略し敵の背後に迂廻その退路を制しつゝ二十一日朝來猛烈なる攻撃を開始し殲滅的打撃を與へつゝある、一方懷久大麥郊鎮の敵を驅逐殲滅した方面より南下し北東より蠡石鯉登、岸間兩部隊は大麥郊鎮の敵に包圍態勢を遂げつゝある我が軍の背後を窺はんとした同浦線東北山嶽地帶一帶に蟠居せる三個師に餘る敵は、その迂廻行動に出る以前に於て我が工藤、中村各部隊が凡ゆる困難を克服して山又山、谷又谷を追撃、漳河の上流を渡河して逃ぐる敵を急追し、二十一日夜遂に屯留を陥落せしめ敵の背後を衝くの姿勢をとつたゝめ、敵は周章狼狽遁走の已むなきに至つた、我が軍のこの巧妙な戰術に山西の敵は早くも總崩れの形勢を顯著に表はしてゐる

【太原廿二日同盟】白壁關、鯉登、岸間兩部隊は大麥郊鎮の西南方二十キロの地點に集結せる柳三全の率ゐる敵を殲滅すべく進撃を開始した、服部大尉は高劉子へ向けて正面を衝き、又神田、高田、半田の各部隊は迂廻して敵の退路を遮斷、廿一日朝來猛攻を續けてゐる

要地續々陥落

【彰德廿三日同盟】我が軍は廿二日午前山西省中部の要地双池鎮を占領、又同日拂曉介休西方五里の河口鎮を占領

【彰德廿三日同盟】○○部隊の一部は廿二日拂曉蟠の大部隊が蟠居する河口鎮（介休西方十五里）を攻撃猛烈な激戰の後遂にこれを陥落せしめ、敵は多數の死體を遺棄して西方山中に遁入した

銃火交へず 敵軍脆くも降服

【彰德二十二日同盟】去る二十日朝我が大野部隊の先頭部隊は二十二日午後老子集（彰德南方十里）に於て三千の土匪に遭遇したが、既に皇軍の威力に戰意を喪失して彼等は銃火を交へる必要もなく降服し來つた

黄河北岸の要衝 孟縣に皇軍突入 要害悉く我軍の手に

【北京廿三日同盟】石黒部隊は廿二日午前十時黄河南岸孟津方面に潰走の敵を制壓しつゝ北岸の要衝孟縣に進入したこれによつて我京漢線作戰部隊は黄河以北河南省の要衝を悉く占據したわけである

【彰德廿三日同盟】頭山部隊は廿二日夕刻黄河左岸の要地濟源を占領した

津浦線定遠附近で 北上軍快勝

【鳳陽廿二日同盟】田代部隊は廿二日午後二時老仁渉（定遠西方二里）に於て敵第百七

上海方面最高指揮官 畑俊六大將親補

【東京廿三日同盟】大本營陸軍部廿三日午後二時發表

上海方面最高指揮官松井大將、軍司令官朝香中將宮殿下、杭州灣上陸軍司令官柳川中將は交代歸還を命ぜられ、陸軍大將畑俊六新たに同方面最高指揮官に親補せられたり

上海軍當局談

【上海廿三日同盟】上海軍當局談

去る一月十六日に於ける帝國政府の聲明に基き、軍は作戰目的を貫徹するため飽まで長期戰遂行を決意し、過般來各改編を行ひつゝあつたが最近その完結を見た、玆に過去十歳に亘り赫々たる戰績を殘し功成り遂げた松井大將を送ると共に、新情勢に卽應する體勢を採ることゝなつた、かくて中支に於ける大目的の貫徹を期するための至誠たる帝國政府の方針に基き、愈よ事變第二次の段階に入つたわけである、

事變愈よ第二段階へ 畑新軍司令官を迎へ 長期戰遂行の改編完結

支那民衆及び第三國人に對しては帝國政府並に前軍司令官歴次の聲明の趣旨を尊重、繼續することは勿論である、軍は重ねて世界各國が軍の抱懷する意圖を諒としその使命に就き充分なる理解を深め而して事態の推移を靜觀し國交の更に敦厚ならんことを望んで止まぬ次第である

日伯漫談

須田町人

折角いゝ所へ來てながら前席で申述べた樣なでいたらくでは何とも仕樣がありません、日本人が集團すりや日本の習慣が行はれるに不思議はなく、中々ブラジルの習慣を取り入れるなんてことをやりません、御承知の通り日本の風俗習慣といふ奴は、全く日本限りのもので少しも世界に共通した點がございませんから、外國へ持ち出すとどうにもなりませんや、それも日本ですとその習慣をやつて行くのに、村の長老だの【お上の役】【人】いろ〳〵たい奴が居て無茶はやらせぬやうになつてますが此處ではまだ自由でこはい者なし俺の物を俺が賣るのだ、安からうと高からうと餘計なお世話だと云つた工合ですそれでブラジルでは日本人だけが集團して、附近に外國人が居なかつたら決して線には行きません、只單に生活して行くだけでも前申す通り無用の鐵爭をやつて損ばかりしてなきやなりません、純日本植民地と云ふ奴餘程根性を入れ替へねと變なものになつてしまいます、皮肉なものでブラジルでは何の彼のと世話を燒き過ぎた植民地は皆イケず、野放しでやり放した所だけがのしてます【三角】【ミナス】【つてる】に散らばる日本人なぞは、植民地だ屁ッたくれだなんて名前は付けてませんが、一から十までブラジル人相手に仕事をやつてるだけに、他地方の日本人に比べると仕事のスケールが大きく、第一仕事度胸がちがつてまさあ、どうしたつて日本人がこの國で大きくやるには外人の間に進出して行くより外に手はない、それを純日本人植民地といふ奴は外人に接觸する機會を無くして、仲間内だけでベチャクチャ井戸端會議をやつてるのだから話になりませんや、實際また外人の中へ進出して行くと日本人などゝちがつて物事がアッサリしてますから、仕事が非常にやり易くその商賣、そりやそれでよろしい、權茸乾鰮が無くちゃ困る人もごはしやうし、日本流の料理屋に爲長の娘みたいな女給でも居ない事にはいな氣【晴】【らしが】【出】【來】【ぬ】と云ふ御仁もごはしやう、そんなものは奬勵せなくとも自然に出來まさあ、ブラ拓が羽瀾商店や中矢商店に伍して數の子いちりはいゝ例でしやう餘談はさておき日本人が經濟的に伸びて行くには、どうしても此處流にやつて外人の間に進出して行くより外に手はございません、それには年季が要ります

【味】【を】【占】【め】【る】と日本人のやうなヒネクレたのを相手にするのは五月蠅くてイヤになるものです、一週間前カンカンになつて喧嘩してもそのあ會ふとケロリとしてバモ・トマ・カフエーと來るこれが日本人同士であつてどうんなさい、半歳も一年も根に持つてからに中々ぬけませんや、だから獨立して外人の中に進出してる者はその人の腕次第でいくらでも太ツかくなりますが、同胞だけを相手にしてる者は誰が何をやつて居やうとタカが知れてます、共喰ひ

英伊關係朗明化 五百萬磅の對伊クレヂト 反英放送忽ち中止

【倫敦二十二日同盟】英國政府に歸還する駐伊英國大使バ府はイーデン外相の辭職を契機に愈よ本格的に英伊關係の調整に乘り出すことゝなつた模樣である、既に英國商務省は爲替保障局を通じてイタリー政府に對しクレヂットを許與するに決定し、目下その準備を進めてゐる模樣であるが先づ手はじめに五百万磅のクレヂットを許與するといはれる、一方從來英伊國交調整の障碍となつてゐた南伊バローラ放送局の反英宣傳放送は二十一日急に中止されるなど英伊關係は明朗化の一途を辿つてゐるが、更にムツソリーニ首相は英國政府に對しスペインフランコ軍に對する交戰團體權の承認を條件にイタリア義勇軍のスペイン撤收に應ずる旨通達したとも傳へられ、英伊會談の前途は頗る好轉視されるに至つた

勞働黨攻撃の矢面を 首相、敢然所信を吐露 イデン外交清算を强調

【倫敦二十二日同盟】英國下院に於て十二日同盟】チェンバレン首相は二十二日午後の英國下院に於てイーデン外相の辭職問題に關する勞働黨側の猛烈な論難に對し、敢然立つて堂々と自己の所信を披瀝し、國際聯盟に對する所信を率直に表明、イーデン外交清算の必要を强調して左の如く述べた

聯盟今日の大勢を以てしてその標榜する集團的安全保障の目的を達成し得ると信ずる者があるであらうか、聯盟の現狀を以て今日何れの國家にも集團的安全保障を提供し得ずとする余の所見が正しいものであるとすれば、我々は敢て自己を欺いてまでもこの現實に目を覆はねばならぬ理由はどこにもない、まして英國が先頭に立つて弱少國家を欺き聯盟が他國の侵略行爲から我々を庇護してくれるのだと考へさせようとしてはならぬ筈である、聯盟は列强の大多數をその機構内に包含し得ざる限り、國際政局に處して有効な措置を講ずることは不可能である、余は現在なほ聯盟には重要且つ貴重な仕事が殘つてゐることを確信するものであるが聯盟の指導原則が依然として侵略行爲に對する制裁規定の適用乃至は武力行使といふ名目的な原則に固執してゐる限り、完全にその使命を達成し得るかどうかを密かに疑問とするものである、余は聯盟規約中の一個條と雖も敢てこれに變更を加へんと提言するものでない、たゞ聯盟がその規約適用を强行するに充分な强さを持つに至つた時はこれを行使することゝして暫く規約をの儘そつとして置かうといふに過ぎない、これは要するに聯盟は斷然その實質に副はぬ表面の粉飾を一擲すべきである、そして眞に實行し得る範圍を勇敢に宣言して更生の第一歩を踏み出すべきである

支那大使の來訪求め 獨乙外相、反省を促す

【伯林廿二日同盟】リベントロップ獨外相は廿一日外務省に駐獨支那大使程天放の來訪を求め、ヒットラー總統の演說中に闡明されたる滿洲國承認並に日獨提携强化政策に關し說明を行ひ、國民政府の反省を促した、これに對し程大使は支那側は獨逸政府の今回の措置には不滿である、國民政府は赤化勢力の支那援助を要請したと傳へられる

支那側懇請を裏切り 英、鐵道借款を拒絶 雲南、ビルマ間計畫完全に失敗

【上海二十二日同盟】外人方面の確實なる情報によれば國民政府鐵道部は香港及び倫敦の二ケ所に於て英國政府當事者との間に雲南、ビルマ間鐵道敷設に關する一億二千万元の借款を交渉中であつたが、右に對し英國側は極東の新情勢及び國民政府の現狀に鑑み支那側の懇請を裏切つてこれを拒絶、外交々渉は完全に失敗に歸したことが判明するに至つた、右鐵道計畫は海港を封鎖された國民政府が漢口、重慶などその據點より海港との連絡上絶對必要に迫られ、且又冷却し行く英國の同情を呼び戻さんとする魂膽からその袖にすがり付かんとしたものである、右鐵道計畫の内容は雲南省昆明より大理を經てビルマのミチナーに出で、ビルマ鐵道に連絡して遠くラングーンの海港に臨まんとするもので、新嘉坡の背後に出て英國を始め諸外國の援助を求めんとしたものであるがこの計畫が完全に失敗したゝめ國府は少なからず失望してゐる

ソ聯の我權益侵害に 貴院、政府を激勵 斷乎、既得權益確保せよ

【東京廿三日同盟】最近ソ聯太に於ける石油石炭並びに北の不當なる壓迫によつて北樺洋漁業に關する我權益が漸次侵害されつゝある事實に鑑み過日衆議院で既得權益確保につき、政府覆縫の質疑が行はれたが更に廿二日は貴族院豫算總會の席上公正會の岩倉道俱男から同問題に關して徹底的對策樹立につき政府に糺すべきであつた、同問題の成行を深憂する公正會では今日こそ政府は決然たる態度を示し、また國民も權益は斷乎擁護死守すべき決意を闡明すべきであるとの强硬意見に一致し、近く研究會その他の各會派に積極的に働きかけることにかつたのでその結果によつては右に關する政府覆縫の決議案が提出される模樣である

東郷大使 獨外相と懇談

【伯林廿二日同盟】駐獨帝國大使東郷茂德氏は廿二日午後五時獨逸外務省にリベントロップ外相を訪問一時間に亘り懇談を遂げた、席上東郷大使は獨逸の滿洲國承認に對する努力を感謝したが更に兩者は防共線に添ふ日獨兩國の提携强化につき意見一致今後具體案の決定を急ぐことゝなつた

衆院分科會

【東京廿三日同盟】廿四日衆議院各分科會を開催、三月二日までに終了する筈である

フランコ軍大勝 人民戰線軍テルエルを敗退

【バルセローナ二十二日】スペイン東部の要衝テルエルの爭奪戰は舊臘來フランコ軍、人民戰線軍双方の間に激烈に繰り返されてたが、バルセローナ人戰線政廳は二十二日遂に人民戰線軍のテルエル敗退を認發表した、フランコ軍は去る一月二日人民戰線軍のテルエル包圍を擊破して多大の戰果を收めたが、續いて七日人民戰線軍はテルエル奪還に成功、爾來フランコ軍との間に激烈な爭鬪を繰り返してゐたもので、二十二日に至りフランコ軍の空陸呼應しての果敢な攻撃に支へきれず遂にテルエルを放棄して逃走を開始し、フランコ軍はこゝに要衝テルエルを完全に確保するに至つた

怪飛行機 頻々佛船を狙ふ

【マルセーユ廿二日同盟】當地に達した無電報告によれば佛蘭西汽船ブラード號は廿二日バレンシア沖合十五哩の海上を航行中、突如國籍不明の飛行機に襲撃され機關銃の掃射を受けた、幸ひ負傷者一名を出したに過ぎなかつたが、佛蘭西驅逐艦エベルビエ號は直ちに現場に急行した、更に佛蘭西汽船マレシャル・リヤーテイ號からの無電によれば佛蘭西汽船レヂナ・パンス號（九九七トン）も廿二日バレンシア沖合十二哩の海上を航行中突如國籍不明の飛行機から襲撃を受けたといはれる

農家の戰友……
獨乙製噴霧器
プラッツ（攪拌器付）
精巧・堅牢・無比
天下に冠たり
先づ良品の御撰擇が肝要です……
◈御注文は出張員
◈又は直接本社へ
直輸入 日伯社 營業部

チンタは
Pelikan
GÜNTHER WAGNER LTD.
日本人總代理店 日伯社

無敵!!
農家よ、安んぜよ！
この農藥品の効果に!!
國産 アルセニアット・デ・シュンボ（砒酸鉛）
は赤刷レッテル貼付の本社販賣品を……
◈御注文は五十キロ（一樽）以上は直接本社へ
多量御購入の方には特別の御相談に應じます
本社出張員又は直接本社へ
工場 日本農藥株式會社
販賣所 日伯社營業部

支那機臺灣を襲ふ

昨日付同盟發電によれば支那機數機が再度に亘り台北飛行場並に新竹附近を襲ひ台灣官民に多大の衝撃を與へた模様である、敵機來襲の事實は今次事變發生以來最初のことであるが、支那機も來襲することが出來るといふ印象を我が國民一般に與へたことは、戰術上の實際的効果如何に拘らず、戰爭をすれば勝つものと多少緩みかゝつた觀ある國民の精神を更新緊張せしめるに役立つところ頗る多く、見樣によつては帝國今後のためよい刺戟となつたと云つてもよい、敵の台灣空襲は捨鉢的な最後のあがきであるか、或は今後の攻撃のための小手調べであるか、何分電文簡にして詳細を盡し難いが、敵にも攻撃の手法を心得てるといふ事實は、その實力とは別個にしてもこのたび確認された譯である

英國が南京陥落後も依然蔣政權の舊勢力挽回のため凡ゆる援助を與へて來たことは隠れなき事實である、而して漢口の陥落も目焦の間に迫りをる昨今、なほ長期抗日を叫び遠かに屈服の色なき蔣介石の態度は一に英國の後援に依存して來たものなることと疑ふ餘地はない、然るに英國のこの方針を代表して來たイデン外相は英伊接近問題に坐して失脚し、今後の英國外交は聯盟第一主義の從來の方針を一擲し、日獨伊防共樞軸に接近するに至つた、素より自由主義を標榜する英國がアメリカを差しおいて手輕に日獨伊に接近するとは考へられないにしても、尠くとも全く實力を喪失した聯盟を囮に得手勝手な正義を振りかざし、これを以て極東事態に對處せんとせる從來の行き方には必ずや相當修正を加へらるべく、この英國の外交方針轉換はその儘蔣政權の對日政策に響き、恐らく今後幾ばくもなく現外交の全面的退却を餘儀なくされるのではないかと考へらる

傳へられるところに依れば先ごろ蔣介石は宋子文、孔祥熙、宋姉妹の秘密會議を開いた末、長期抗戰に伴ふ軍資金武器調達のため宋子文を歐洲に派遣することになつた模樣である、すでに歐洲には孫科在り殊にモスクワに於て莫大な利權譲渡を條件に軍事的支援を蘇聯政府に要請したといふ、宋子文が渡歐するとすれば行先は英佛を措いてないが前述の如く英國の對支政策は等の軍首脳部を招き協議の結果即座に軍事會議開催を決定し、最高軍事機關各部長を召集の上重要會議を行つた

席上南北全線に亘る連續的敗北と關聯して漸次冷却して來る諸外國の態度並に獨逸軍顧問の地位にも言及し且つ今後の戰爭並に對内關係を如何に處理すべきかを協議した模樣である

之と時を同じうして一方行政院でも院長孔祥熙を始め各要人出席、外交部長王寵惠より西藏に亦日支事變物發と國民黨の波落的な情勢が齎らされたのは昨年十月北京發カルカッタ經由入藏した一ラマ僧によるのが始めてであつたが、これにより西藏政權は早くも同月下旬南京政府がその宣傳工作に使用すべく、昭和十年拉薩に設置した無電台及び通信機械全部を沒收、無電台長以下六名の支那人に對し四川省引揚げを命じた、現在同地には國民黨統治下の者は一人もない情勢で、拉薩政權としては日本を東亞の盟主として仮共戰線に敢然と戰ひつゝあることに、非常な敬意と同情を寄せてゐる

獨逸の滿洲國承認問題につき重要報告あり、對獨抗議はヒトラー總統演説の全文を檢討した後行ふことゝし、防共協定締結國が相次いで滿洲國承認の擧に出づるに對し支那としてとるべき態度を協議、捨鉢的な議論も出た模樣で、外交政策上或る種の轉換を暗示する如き緊張する空氣が漲つた由である、會議終了後某要人は

歐洲政局の發展が極東問題に影響することに關し、我國のこれに對する態度は原則上相當の決定を見た

と新聞記者に洩らしてゐる

獨逸の滿洲國承認問題に

國際情勢の暗轉に 漢口要人鳩首凝議 捨鉢的な議論も續出

日本を盟主と仰ぎ 西藏に反蔣熱

【北京二十二日同盟】日支事變の反國民黨政權熱は俄然拍車をかけられてゐるが、最近西藏より北京に歸來したラマ僧チムヤンタンヘの談によると最近西藏では左の如く反國民黨運動が燎烈となつてゐる即ち

皇軍一部交代

半歳に亘る戰塵を拂ひ 武勳輝く晴れの凱旋

松井將軍廿五日愈よ帝都入り

【下關廿三日同盟】世界戰史に燦古不滅の偉勲を樹てた松井大將は廿三日朝門司入港の○○船で故國に輝く晴れの凱旋第一歩を印した

赫々たる武勲を樹てゝ内地に歸還した松井大將は廿五日午後又朝香中將宮殿下並に柳川中將は廿六日朝夫々東京驛着帝都に晴れの凱旋をなす、五分東京驛着列車にて又軍司令官朝香中將宮殿下並に杭州灣上陸軍司令官柳川中將は廿六日午前九時三十分東京驛着列車にて帝都に晴れの凱旋をする筈であるが、三將軍は同日中に打揃つて粟山御用邸に伺候、天皇陛下に拜謁仰付られ中支派遣軍の軍狀を委曲奏上御下問に奉答する豫定である

覆面の猛將 柳川將軍も凱旋

【上海廿三日同盟】杭州灣北岸の敵前上陸以來四ケ月、江南の野に轉戰して赫々たる武勲を樹てた魂の將軍柳川軍司令官は廿三日午後三時黄浦口碼頭から御用船に乘船、軍民の萬歳聲裡に一路母國に向けて出發した

天皇陛下に拜謁 三將軍身に餘る光榮

【東京廿三日同盟】赫々たる武勲を樹てた廿三日下關に歸還した上海方面最高指揮官松井大將は、廿五日午後三時二十分東京驛着列車にて又軍司令官朝香中將宮殿下並に杭州灣上陸軍司令官柳川中將は廿六日午前九時三十分東京驛着列車にて帝都に晴れの凱旋を遂げた上陸作戰に支那軍を震撼せざる上陸作戰に支那軍を震撼せざる上陸作戰に支那軍を震撼せざる

移民定着動靜

お尻の輕い日本移民、昨年中に千百余名歸國

ブラジル人の他國移住　千四百廿八名

州移民局の發表に依ると一九三七年度中にサントス港經由入聖した移民は四五、九一九名でそのうち外國移民の主なるものを拾つてみると左の通り

日本	四、八四六	九四七
ポルトガル	二、一九八	五六二
イタリー	一、一九〇	二四五
ポロニア		二三二
ドイツ		九四七
アルゼンチン		九二七
スペイン		五六二
獨逸		二四五
伊太利		二三二
アルゼンチン		九四七
スペイン		九二七
ウルグワヤ		五六二
日本		二四五
乙		二三二
利		九四七
ポルトガル		九二七
日本		五六二
乙		二四五
利		二三二
伊太利		九四七
アルゼンチン		九二七
スペイン		五六二
ウルグワヤ		二四五
日本		二三二
亞細亞		七四一
アジア		三八四
アルゼンチン		二九三
アフリカ		六四
北米		二九三

尙同年中にサントス港經由外又は外國に出た數は一五、〇一一名で結局三〇、九一八名の入聖超過となつてゐる、出聖移民の主なるものを上げてみると

北伯移民	七、九二五	五四四
ポルトガル	一、二四六	一、二〇一
日本	一、一四五	四六九
乙		二一三
利		一一四
伊太利		七四一
アルゼンチン		三八四
スペイン		二九三
ウルグワヤ		六四
日本		二九三
亞細亞		七四一
アジア		三八四
アルゼンチン		二九三
アフリカ		六四
北米		二九三

となり、このうち日本人は一一一一名が棉や米で儲けて日本へ歸國、七名はブラジルに見切りをつけて亞國へ行き、殘り一四三名が他州にカフンの地を求めて移動してゐる、尙面白い事には入移民國ブラジルから他國へ移住又は出稼或は長期視察に出たものが一四二八名あり、その行先を調べてみると

亞細亞	七四一
アジア	三八四
アルゼンチン	二九三
アフリカ	六四
北米	二九三

となつて居り、アジアの三八四名が一般の注意を惹いてゐる

中央會を極力強化

實務指導に當る

出席者、十五組合十九名

總領事館會議室で開かれた出席者は柳澤、中村伊作（桂産組）佐々木光太郎（プロミツソン）下元健吉（コチア）上原直勝（ジユキア・バナナ生産者組合）仲川直行（アバレー）館脇（トレスバラス）渡邊孝、佐川善作（モチ）岡上與之助（イタケラ）松本龍一（スブルバノ）脇山甚作（バストス）宮尾厚、長谷謙三（第三アリアンサ）橋浦昌雄、森田万三（同上第二）原田實（ジユケリ）瀬下登（第一アリアンサ）上野（カンパラ）の十九名に總領事館側よりは總領事以下勤業部員七名

産組常務者懇談會

懇談會は昨日午前九時より總領事館會議室で開かれ、主催側の邦人産業組合常務者懇談會は昨日午前九時より總領事館會議室で開かれた出席者は柳澤、中村伊作（桂産組）佐々木光太郎（プロミツソン）下元健吉（コチア）上原直勝（ジユキア・バナナ生産者組合）仲川直行（アバレー）館脇（トレスバラス）渡邊孝、佐川善作（モチ）岡上與之助（イタケラ）松本龍一（スブルバノ）脇山甚作（バストス）宮尾厚、長谷謙三（第三アリアンサ）橋浦昌雄、森田万三（同上第二）原田實（ジユケリ）瀬下登（第一アリアンサ）上野（カンパラ）の十九名に總領事館側よりは總領事以下勤業部員七名

産組、中央會、プラ拓、農事協會、産組中央會からもそれ〴〵出席した

諮問事項は「聖州珈琲界の不振に加ふるに今般の支那事變はいきほひ伯棉の對日輸出を困難ならしめ延いて各方面にも重大なる影響を及ぼすべき事必然の形勢なる處、將來各種産業組合の特殊發展上必要なる對策如何」といふのであるが、午前中は産組各自の手前味噌を述べたゞけで終了、午後に入つてから漸く懇談に油も乘り、常務者側から勤業部より實際的指導のため絕えず各地に出張して貰ひたいと申述べ、大體

産組中央會を强化し年一回の自己檢査のため中央會より書記を派遣し實務檢査し指導する、更に中央會主催で講習會開催計畫、また現在の缺陷は帳簿が不正確であることでこれを各産組の帳簿を一定にすること、銀行を仲介とする組合同志の金融を研究する等につき懇談した、なほ同夜七時より日本クラブで總領事招待の晩餐會が開かれた

米國新農業法

棉花生産制限

二千六百万エーカ

收穫豫想一千一二万俵

【華府十九日UP】北米農務省では今度新農業法によつて棉花及び煙草の生産制限を規定した、同令によると

棉花の栽培面積は二千六百三十八万四千エーカーと定められ、これを昨年度に較べると八百万エーカーの減少、新規定面積からの生産豫想は一千十二万九千俵で昨年度の一千八百七十四万六千俵より八百六十一万七千俵減となる

なほ同令施行は少くとも米國全農業者三分の二以上の贊成を得た上で實施される

スポーツ・シーズン來る

マ軍の追擊及ばず

榮冠は再度ウ軍へ

奥ソロ野球大會終る

奥ソロカバナ球界の最高峰奥ソロ野球大會は五チーム參加の下に去る十九、廿の兩日プルデンテ球場に於て華々しく擧行された、午前八時半前年度優勝ウエンセスラウチームを先頭に歩武堂々入場、國旗掲揚、優勝旗返還に次ぎ西村審判部長の激勵、大磯プ軍主將の選手宣誓に入場式を終り午前九時廿分より愈よ快戰の幕は切つて落された

WP
0 0 1 0 0 0 0 3 0 4
0 0 1 0 1 0 0 0 0 0 7 4

◉プルデンテ對ウエンセスラウ戰……前年度のベナントを堅持すべく意氣軒昂のウ軍に對しこれに砂塵を浴びせんとの氣魄物凄いプ軍、果して試合は一進一退錯綜を許さず本會勞頭を飾るにふさわしい熱戰となつたが結局老練高松投手を擁するウ軍一段と目覺ましく、プ軍の健闘も空しく七對四でウ軍の門に降つた

MA
0 4 0 1 1 2 1 0 0 9
1 0 0 4 6 0 2 3 2 1 7

◉プ・ベルナルデス對マッシヤード（準決勝戰）……廿日午前八時三十分開始、ベ軍は本大會創始以來各回優勝戰まで勝殘り惜くも敗退してゐた不運なチームであるが、今回こそはとの意氣物凄く一方マ軍も前日の快勝に氣をよくしてか最初よりよく攻め着々と得點を重ねれば、ベ軍もさるもの執拗に喰ひ下つて九回裏十五對十四、一點の差を以てベルナルデス最後の猛擊効を奏し一點を擧げ同點、本大會創設以來始めての補回戰に入る大接戰となり觀衆を唸らせたが、十回表マ軍二點を得て既に決定的と見られた、然るにその裏ベ軍必死の追擊に一點を報ひ猶走者三塁に據るチヤンス、まだ一死！應援團自軍の聲援に場内嚴然、打者三塁の聲援したがマ軍山下三塁手の美技に二死となつたがなほチヤンス、この時ベ軍四番打者花岡業壁を擦つて現れ好球逸せず發止と打てば球はグン〳〵のびて外野を拔けんとし應援團總立ちとなつたが、マ軍別府左翼手後退又後走壁命にこれを追ひ橫飛びに好捕し鼓にこの肥線的大試合の幕を閉ぢた、勝つ者、敗る〻者の別なく一同相擁して感涙に咽んだ

NIPPAK SHIMBUN

Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII — São Paulo — 5.a-feira, 24 de Fevereiro de 1938 — Num. 1.337

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA

DIRECTOR: Masaki Udihara — GERENTE: Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 169
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegraphico: "Nippak"
SUCCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas
PARA O BRASIL
Por anno ..... 30$000
Por semestre ..... 16$000
Numero avulso $500
PARA O EXTERIOR
Por anno ..... 0$000

Annuncios
Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha

Uma nota sobre a corrida armamentista naval publicada por um orgão da imprensa nipponica

Tokio, 16 — Sob o titulo "A corrida armamentista naval e a responsabilidade dos Estados Unidos da America do Norte, Inglaterra e França", o influente jornal "Hochi Shimbun" faz uma advertencia aos governo norte-americano e inglez, e exige que seja reconsiderado o acto relativo ao problema armamentista, manifestando profundo desagrado á attitude assumida por esses dois governos, através da nota anglo-franco-americana, pelo approveitamento da resposta do governo japonez á referida nota, como pretexto a expansão naval desses dois governos.

O mesmo jornal declara que a corrente armamentista, que actualmente predomina no mundo, foi motivada pelo plano inglez de expansão naval, publicando hoje, o citado jornal, um commentario no qual affirma que o povo japonez não póde deixar de surprehender-se com a diplomacia capciosa do governo inglez, cujo intuito é fazer do Japão o "bode expiatorio" da corrente armamentista, procurando occultar, assim, a ambição qualimenta da expansão naval.

Quanto a contradicção da attitude do governo norte-americano, o mesmo jornal affirma que o fracasso da ultima tentativa de desarmamento, foi motivado pelo principio defendido pelo governo americano de ser adoptado o plano de grande marinha.

O governo japonez — é ainda o mesmo jornal que commenta —, está sempre prompto a entrar em negociações com outras potencias no sentido de ser conseguido o desarmamento, contanto que a discussão seja processada em torno do desarmamento qualitativo e quantitativo.

A Allemanha reconheceu oficialmente o Mandchukuo

Importante discurso do chanceller Hitler

Berlin, 21 — Domei — O chanceller Hitler pronunciou, ás 13,5 horas de hoje, o seu esperado discurso, no "Reichstag". No recinto achavam-se 300 deputados, corpo diplomatico e cerca de 200 jornalistas, além de altas patentes do exercito e da armada. Entre os embaixadores da França, Italia e Turquia se via o embaixador nipponico, sr. Togo. O chefe do governo allemão fallou sobre a organização do Partido Nazista, sua historia e suas relações com o exercito allemão, passando em seguida a examinar a politica externa. Nesta parte da sua oração o chanceller germanico annunciou officialmente que a Allemanha reconhecia o Estado do Mandchukuo.

Referiu-se em termos bastante claros e positivos ao conflicto sino-nipponico, á Sociedade das Nações, ás relações do Reich com a Inglaterra e Italia.

A juventude nipponica e a aviação do Imperio

Tokio, 18 — Domei — Acha-se em grande actividade a Sociedade de Aviação da Juventude Nipponica, que constitue a segunda linha de aviação do Imperio. A referida sociedade, para executar os seus planos traçados para o corrente anno, está trabalhando com ardor e enthusiasmo no engajamento de 400 socios e 70 aprendizes de pilotagem. A sociedade, com a cooperação dos governos provinciaes, está expandindo grande actividade em todo o Imperio, no sentido de ver realisado o seu plano.

Exposição Internacional de Tokio

Os preparativos da prefeitura da capital nipponica

Tokio, 19 — Domei — A prefeitura de Tokio está apressando, conforme temos noticiado, os preparativos varios concernentes ás Olympiadas de 1940. Entre elles, as obras de engenharia estão merecendo especial cuidado por parte dos meios interessados, tendo sido apresentados os projectos respectivos á Commissão de Obras no dia 18 do corrente.

Segundo o plano gerál approvado pela alludida commissão, as obras a serem construidas especialmente para fins olympicos, inclusivé estradas, pontes, etc., estão orçadas, no total, em 10.900.000 yens. Esta importancia será fornecida em tres annos, sendo as maiores as seguintes: (em yens)

Estradas e pontes	4.000.000
Exgotos	1.300.000

Todo este preparativo visa augmentar o brilhantismo da Exposição Internacional que se realizará simultaneamente com os jogos olympicos, em 1940, nesta capital.

Officio de agradecimento ao governo japonez

Tokio, 16 - Domei — Tanto o governo como o povo japonezes, demonstraram desde o inicio, profundo sentimento de pesar pelo incidente da canhoneira norte-americana "Panay" tendo offerecido grande quantidade de donativos ás victimas do lamentavel incidente.

Bastante commovido por esta generosa attitude do governo e povo japonez, o embaixador norte-americano junto ao governo japonez, dirigiu um officio de agradecimento ao Sr. Hiroshi Sato, presidente da Associação nippo-americana, nos seguintes significativos termos:

"Appresento as minhas mais sinceras expressões de agradecimento, pelo generoso gesto do povo nipponico referente ao infeliz incidente que se deu aos 12 de Dezembro de 1937 isto é, o incidente com a canhoneira "Panay". Fiquei profundamente commovido ao receber de V. Excia., aquella missiva, na qual V. Excia. se referia ao esforço de 7,749 pessoas e 218 associações em pról do donativo ás victimas do referido incidente. Accuso tambem o recebimento de um cheque de 14.256 yens, juntamente com a carta. Por óra não posso communicar a V. Excia. qual o fim a que eu deva applicar esta quantia, mas estou estudando um meio de applical-a de modo a poder satisfazer a intenção dos senhores doadores.

Mais uma vez agradeço este gesto, em nome de todas as victimas do incidente e de suas respectivas familias.

Appresento tambem os meus mais sinceros sentimentos de gratidão e reconhecimento á Associação nippo-americana que serviu de intermediario neste commovente gesto do povo nipponico.

Impressos?
Procure a
TYP. "NIPPAK"
Caixa Postal, 375
São Paulo ---

A caravana italiana que vae visitar o Japão, partiu com destino áquelle paiz

Roma, 17 — Domei — A caravana italiana que vae visitar o Japão, partiu de Roma ás 9,15 horas de hoje, tendo embarcado no vapor "Conte Biancamano", que deixará Napoles ás 15 horas do mesmo dia.

De Shanghai a embaixada viajará num navio japonez, devendo chegar a Tokio, no dia 18 de Março p. vindouro.

Medidas financeiras

do governo discutidas na Camara dos Pares

Tokio, 14 — Domei — As interpellações do deputado Masanosuke Kato na sessão de discussão do orçamento da Camara Alta:

Deputado Kato — Levando em grande importancia a necessidade da união intima entre o povo e os poderes governamentaes, concordei e pretendo concordar sem condicção com todos os projectos de leis apresentados.

Desejo saber agora a opinião do governo quanto ás questões dos emprestimos publicos e da alta do preço das mercadorias.

Ministro das Finanças, Kayano — Ainda não foi publicado o orçamento militar extraordinario que comprehende o orçamento supplementar do emprestimo publico, mas essa quantia será de algumas centenas de mil yens. Esse emprestimo será uma realidade, mas o governo está tomando o necessario cuidado para não descontentar os meios financeiros do paiz. O emprestimo publico é por sua natureza, de prazo bastante longo, mas pode acontecer que o governo considerando as circumstancias do momento, lance mão do emprestimo publico de prazo curto. Havendo tambem necessidade de preparar-se para uma lata de longa duração, pode acontecer que o governo augmente os impostos.

O governo está trabalhando no sentido de precaver-se contra a alta dos preços, para que não surja difficuldade de vida para a população.

O PROBLEMA NAVAL

A opinião do Nippon em face das allegações dos EE. UU. para as suas gigantescas construcções navaes

Tokio, 18 — Domei — O Congresso norte-americano continua debatendo, com grande repercussão no mundo, o projecto de augmento de sua frota naval. O Japão por sua vez, faz saber que sustenta a seguinte opinião:

1.º — Diz-se que, ao Japão, é preciso sómente a guarda do Oceano Pacifico, mas tal argumento é contra a caracteristica da força naval que é o deslocamento. E' muito mais facil uma frota naval norte-americana reunir-se num determinado logar, do que uma frota européa ou oriental chegar ás costas dos Estados Unidos. Realmente, os Estados Unidos na occasião do incidente do Mandchukuo, reuniu a sua frota naval no Oceano Pacifico, e actualmente o Atlantico está vasio, mas elles assim procedem, porque têm a convicção de que, no caso de necessidade, conseguem transportar immediatamente para lá a sua frota naval.

2.º — Comprehendemos que os Estados Unidos devem guarnecer o Pacifico e o Atlantico, mas está fóra de duvida que mesmo na Europa não existe, por óra, uma força naval tão poderosa, que atravessando o Pacifico possa atacar as costas americanas. Os Estados Unidos estão numa situação geographica tal, que podem ficar socegados.

3.º — Si os Estados Unidos, não obstante se acharem favorecidos pela natureza, estiverem planejando a construcção de novas unidades navaes, allegando a defesa dos dois Oceanos, isto só póde ser interpretado que elles pretendem a organização de tres frotas: uma para as suas costas, outra para os mares europeus e a terceira para os mares orientaes.

4.º — O Japão sustenta actualmente nos seus hombros as seguintes ameaças: A grande frota naval russa, que se acha reunida em Vladivostock (esta frota está sendo augmentada cada vez mais), a frota britannica e as suas fortificações de Singapura e Hong Kong.

5.º — Examinando as allegações dos Estados Unidos não se póde descobrir a causa da necessidade de os Estados Unidos pretenderem a paridade naval com a Inglaterra, pois esta possue um territorio a ser guardado, incomparavelmente maior ao dos Estados Unidos.

6.º — Os Estados Unidos seja em tempo de paz ou de guerra, podem sustentar-se á propria custa o que não acontece ao Japão, o qual não pode ficar sem o fornecimento de materias primas do estrangeiro. Esta questão é para o Japão, caso de vida ou de morte. Reflectindo se nessas cousas, o Japão é que precisa de uma força naval superior á dos Estados Unidos.

7.º — Diz-se que o Japão tem alliados na Europa, e que os Estados Unidos não os têm; mas o eixo Roma-Berlin-Tokio, visa tão sómente a defesa contra a acção bolchevista, e jamais as tres potencias reunir-se-ão para, com as suas frotas navaes, exercerem qualquer pressão aos Estados Unidos.

Pode-se dizer que é maior a possibilidade de uma acção conjunta das frotas ingleza e americana no Extremo Oriente. Actualmente nota-se uma tendencia nesse sentido.

8.º — Considerando-se estrategicamente, os Estados Unidos, num caso de ataque do Oriente e da Europa, pedem dividir a sua frota para se defender nos dois mares. Mas, numa hypothese de acção conjunta da Inglaterra e Estados Unidos ao Japão, este precisará defender-se dessa grande força naval reunida.

O delegado do povo, Sr. Godo, entrevista o ministro de propaganda do Reich

Berlim, 16 - Domei — O delegado do povo, sr. Tokuo Godo, que se encontra actualmente na Allemanha, visitou no dia 16 o ministro da Propaganda, Sr. Goebbels tendo conferenciado sobre os mais variados assumptos. O Sr. Godo, após a conferencia, declarou o seguinte:

"O ministro Goebbels está certo da victoria das operações militares nipponicas. Era desejo do chanceller Hitler abaixar a idade dos officiaes, para que pudessem ser admittidos officiaes moços e mais activos. Disse-me o ministro Goebbels que foi satisfeito este desejo do sr. Hitler.

Tive occasião de entrevistar tambem o ministro da Economia, o qual declarou-me que hoje não estamos mais em epoca de calculos mathematicos, e que a necessidade economica provem dos problemas politicos".

怪奇探偵 幽鬼 (蓬枳原隆)

仲郷三郎 【44】

樂しき奇遇（二）

三千代はハンド・バッグの中から小さな名刺を取り出した。

「森山三千代さん……」

さう呟いて、神杉は深い溜息をした。

それは全く奇遇であつた。彼が二度まで助けた娘は、親友の早坂に大きな打撃を與へたあの森山剛藏の娘だつたとは！

神杉の態度に、三千代は何かある事を感づいて云つた。

「あたしの事、何か御存知ですの？」

「いゝえ。さうぢやアないんです。」

神杉は何氣なく打消して

「たゞ、あの煙突男が、あんまり評判だつたものですから。」

「三千代さん。」

しばらくして神杉が云つた

「あなたはよく物事がお分りになる。だから、あなたのお宅の事に就ても、世間の評判とか、噂とかをお聞きになりませう。そして若し誤まつた事がお父さんの方にあつた場合には、それを正しくするやうに、あなたがお努めなさい。僕も及ばずながら、何かの御助力を致しませう。」

「えゝ。ありがたう。……あたしほんとに嬉しいわ。あなたのやうな力強い……」

さう云つて彼女は頭を下げた。

「實はね・こん度のストライキの事でも、僕はあなたのお父様に對して憤慨して居る事があるんです。しかし、あなたとお話をして見て、それを打明けて置きたいと云ふ氣になりましたよ。」

「さうですか。是非聞かして頂戴。あたしもいろ〳〵お話ね。」

「えゝ。」

三千代は寂しさうに眼を伏せて

「ほんとに、あんなお氣の毒な事があつて、あたしお父さまを怨んで居ますのよ。」

「何故です？」

神杉は興味を以て訊いた。

「だつて、早く職工さん達の云ふ事をきいて上げれば、あんな事にはならないで濟むんですものゝ……全くよ。」

三千代の言葉には眞實の同情が籠つて居た。神杉は、この少女の純眞さが、はつきりと泌み取れた。

「そりやアさうですね。あなたはよくお分りになる……」

「いゝえ。あたしは分らないの。分らないけれど、嘘を云はないだけよ。」

三千代はこの人の前では眞劍になつて物が云へた。

「さうです。それが正しいのですよ。」

神杉は、さう云つてうなづきながら、改めて三千代の方を見返つた。彼の眼は、確かに、ある深い魂の光りを滿へて、輝いて居た。

三千代も、この男性らしい率直な人の言葉に感銘しながら、燃るやうな眼を向けた。

二人の眼が、ぴつたりと一つの焦點に達つた。それは總てのものを燒き盡し、總てのものを透視する力があつた。

その底から、お互の溫かい心持が、渾然として湧き起る事が感じられる……

二人はお互に頬の熱くなるのを感じて、眼を伏せた。

何と云ふ樂しい奇遇であらう。三千代は、夢の中のシンデレラが自分の事のやうに考へられて、恍惚として居た。

神杉は、永い間の親しい友達のやうに、打解けた話に時間の經つのも知らなかつた。

三千代を誘惑した怪しい赤倉の惡漢達とその計畫的な行動と、犬のくはへて來た鳥打帽子の話とは神杉を考へさせた。神杉の話した早坂の事と煙突男の死因に就ての疑問とは、三千代を驚かした。かうして、二人がお互に知り合ふ第一歩はつくられたのであつた。——

してお力をお借りしたい事があるんですの。」

「よゝしさんすとも、何でも仰つしやつて下さい。」

神杉は力を籠めてさう云つた。

二人は、永い間の親しい友達のやうに、打解けた話に時間の經つのも知らなかつた。

三千代を誘惑した怪しい赤倉の惡漢達とその計畫的な行動と、犬のくはへて來た鳥打帽子の話とは神杉を考へさせた。神杉の話した早坂の事と煙突男の死因に就ての疑問とは、三千代を驚かした。かうして、二人がお互に知り合ふ第一歩はつくられたのであつた。——

CARLOS CORRADINI
Rua São Caetano 234 (antigo 42) - Telephone 4-6347 - São Paulo

新種子入荷

野菜、花新種子極上品質着荷、當店では歐洲より直輸をなし全て嚴撰したもので既に農務局に於て試驗保證付のものです

カナリア產リオ・グランデ產セボーラ

【美麗カタログ御申越次第無代進呈】

伯國一の種物商

•••••各種々物定價表•••••

アルフアーセ各種	キロ	22$000
アルメイロン	同	20$000
カナリア產黃セボーラ	同	40$000
リオ・グランデ產	同	120$000
極上人蔘	同	22$000
大ビメントン	同	40$000
大根各種	同	16$000
レボーリヨ各種	同	24$000
トマテ各種	同	24$000

Dr. J. N. Longo
內科專門
Cons. Rua Riachuelo 2

指樣の御馴染のドツトル・ロンゴは聖市日本クラブの向側で開業致しました

土地

ボンペイア、ペレリア・ブエノ土地、マツト五百域、農作好適地、五域以上賣却或はアレンダす

四ケ年賦、御照會は

Oswaldo Sampaio
Armazem Luiz Campos
Pompeia E.F.P.

滋刺たる健康と美を創る

中

體溫は能行を助長して白血球を增强し、全身の機能ホルモン分泌を活潑にして、子宮、卵巢を始め內臟器官を賦活し、全身的な抵抗力を高めて、惡るべき病人病の病魔を體內から取り除きダンゲン健康美を增します。

主効

逆上 頭痛 めまひ 足腰冷込 月經不順 下腹痛 痛癪 ヒステリー 神經衰弱 子宮病 こしけ 產後 しびれ 息切 感冒 產前產後

代理店 サンパウロ州マリーリア市 潮木商店

東京市日本橋 本舗 株式會社 瑞村順天堂

婦人藥の權威

中將湯

CHUJOTO

有名藥店にあり

中將湯の盟進 進展の源へ